

常磐警日新聞

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓

廣告料 五圓以上 一頁一日五圓 二頁以上 四折 三日以上 七折 五日以上 八折 十日以上 九折 一月以上 九折 三月以上 八折 半年以上 七折 一年以上 六折

發行所 常磐警日新聞社 東京市本町三丁目

電話 六三〇〇番

印刷所 常磐警日新聞印刷局 東京市本町三丁目

電話 六三〇〇番

常磐炭田の開發と一

片寄平藏 山口彌一郎

5、各所に炭層發見
彌勒澤に炭層露頭發見後も平藏は常に折を見て各谷奥を探ることを忘れなかつた。萬延元年の彼れの江戸でなくなる爲め發見した炭層は數個所に及び白水奥の現王城炭坑附近、湯本奥の小野田炭坑、小川郷小玉川奥の福島炭坑附近には夫々開坑して局部的採炭を試みた。然し彌勒澤の採炭が最も容易であり規模も大であつたので主として當所のみを専心した爲め他は何れも棄て、省りみなかつた。現在平藏氏に依つて手を觸れられた各谷は常磐炭田の主要炭坑が並び炭礦聚落が充滿してゐる状態にある。

輸の便宜上、原油と思つて製造したか其心状及び經過は不明であるが、單に石炭塊のみを移出するのみでは満足せず明石屋と相談の上大釜二つを江戸より運び石炭を蒸し燒にして瓦斯を冷却し黒い粘液状のコールタールを採取、瓦斯も一部分試用した。

湯長谷様願書下案
乍恐以書奉願上候
白水村於彌勒澤石炭油願人御府内四日市住所紀州様御用達明石屋治右衛門代平藏奉願上候事

右者今般白水村於彌勒澤ニ石炭頂戴奉願上當己之五月より五ヶ年之内右地所小屋場併釜場ともニ三畝廿六歩御拜借仕石炭製

現狀を見たか、それとも運

油仕度奉願上候猶年限中御役永御上納之儀者御思石を以御納仕度奉願上候可相成儀ニ御座候ハ、何卒御慈悲を以願之連被仰付被上置候ハ、難有仕合に奉存候以上
安政四年五月
御府内
明石屋治右衛門代
大桑村
願人 平藏
願甘世話人
加納作次郎

右の願書は湯長谷藩主の許可と共に早速製油を開始した。其の請書下書は次の如くである。
湯長谷様江上候請書下案
乍恐奉差上候御請書之事
一、當御領分磐前郡白水村於彌勒ニ石炭頂戴仕油段仕度奉願上候處願之通御開濟被成下、有仕合ニ奉存候然上者當己より來ル西迄五ヶ年之間油四斗入一樽ニ付永廿貳文之割合以爲冥加年々御國益上納可仕候
一、右製法年限中職人共等入込候儀ニ付御公儀様御法度之儀者不及申上御家様御達向等堅相守取締方大切に仕猶御村方迷惑筋ニ相成候儀決不而可候仕依て御受書奉差上處相

達無御座候以上
安政四年十月五日
御府内四日市
明石屋治右衛門代
願人 平藏
湯長谷
御役所

二冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
（申込次第規則書進呈）
電六三〇番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇番

外科
門 專 光 X
科 線
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

御融通には！
是非御利用を……
萬事便利な御相談に應じます。
三井質店
平四・電六〇六番

新車御披露
三十四年式「デラックス、セダン」入車
致しました。貸切の御用の節は是非御試乗を御願ひ致します。
最新型セダン揃ました
電話六四〇番
「電話六四〇番」
尼子タクシ

門 專
産科
婦人科
花柳病科
入院隨意
井坂醫院
平町田町 電話五五九番

事務所新設ニ付御披露
啓拜 毎々格別ノ御引立御援助ヲ賜リ奉深謝候
陳者今回業務擴張ノ爲メ募集事務所ヲ新設其主任トシテ不肖が拜命致シ候ニ就テハ今後共相變リマセズ御聲援御鞭撻ノ程重テ御願申上候 敬具
有給外務員數名募集
經驗ノ有無ヲ問はず奮闘家ヲ望ム
固定給ノ外旅費支給ス。希望者ハ履歷書持參來所ヲ乞フ
明治生命保險株式會社
平地方募集事務所
主任 小野勝康
（長 吉）
平町仲町二四

◎本會は！！
篤實老練なる看護婦を急派の御命に應じます
平看護婦會
會長 清野キヨ
電話三〇七番

尙ほ御希望に依り
●輕い御病人の附添ひや●妊婦産婦の御家庭に●婆や又は見習婦を●經濟的に
◎御世話致しますとどうぞ御用命下さい。

深夜・平驛に

密會する若い盜賊

遂に「御用」の繩が掛る

昨廿三日夜十一時頃平驛待合室の一隅に若い男女が人目をばばかり喋々囁々して居るのを密行中の

平署員

が怪しみ本署で取調へると男は静岡縣阿部郡有都村字滋川生れ住所不定渡邊音次郎(三)女は當時四倉町新町飲食店鈴木辰藏方酌婦山形縣生れ大木八重(三)の兩名と判明男が誘拐したのでないかとの疑ひから嚴重取調を續けた處渡邊は昨年十二月中東京市

日本橋區大傳馬町一丁目伏見商事株式會社倉庫に忍入り學用文具品數十點を窃取して他房に賣飛した事を自白したが郡下にも餘罪多數ある見込みであると尙女は昨年十月迄東京市玉の井で酌婦業中渡邊とよい仲になり夫婦約束迄交はしたが渡邊は女戀しさに一週間前より肩書地に尋ねて來り各所で逢引して居たものであると

學藝會變更

廿七、八日に既報來る二十六日開催する管の平第一小學校學藝會は都合に依り四年生以下は二

家出季節近づく

けふも平署に二件退職官吏と病弱な娘

某婦人から

涙の同情金

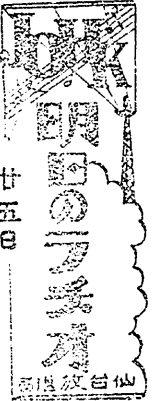
盲青年の行衛判らず宙に迷ふ……

昨日付本紙に掲載した失明青年草野正雄君の薄幸に深く同情した平町の某匿名婦人が「不幸な盲青年に差し上げて下さい」と本社宛に金十圓の寄贈方を依頼してきたので本社はその奇篤に感激早速贈與の手續をなすべく昨日同青年が立寄つた梅崎氏宅に同君の行衛を問合はせた處青年のその後の足跡不明といふ同氏から

無名氏の

糯米分配

本月十一日平町役場へ貧困者救済にと一無名氏から糯米三斗の寄附があつたので町役場では貧困者百五十名の内から最も生活困難と見



今夜は南西の風
明日は西北の風
晴勝ち

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間連
- 後六、二五 基礎佛語講座
- 後六、三〇 時事解説
- 後七、三〇 長唄 石橋松
- 後八、二〇 哥澤淡雪富士

明日の部

- 後九、三〇 時報 ニュー
- 後九、四〇 氣象通報 番組豫告
- 後九、五〇 榮養料理献立

卒業後の方針を

訓導が父兄と懇談

平町各小學校では愈々卒業期も間近になつたので近く各係り訓導が教へ子の家庭を訪問し卒業後の方針に就いて父兄と懇談すると

裁判所たより

△富久村大字下高久字前ノ内二七農鈴木太吉氏が既報の如く永野辯護士を代理人とし通信省を相手取り拂戻が無効であるとして千五百圓の請求訴訟を提起した事件の口頭辯論は昨日午後一時より平支部に於て中島判事係り原告代理人永野辯護士被告代表者戸石平郵便局長各列席の下に開廷事實の取調を行ひ三時頃閉廷したが判決言渡しは来る三月二日午前九時である

免囚劇の

開催日割

既報平自警會及び検査局警察署では共同主催の下に恩赦記念事業として司法保護宣傳劇を開催すべく過般來計割を進めてゐたが来る八日夜の平町警察館を皮切に郡下各所の日割左の如く決定したと

- 八日平町警察館 九日好間村小學校 十日湯本座
- 十一日晝入山劇場 同夜内郷昭和館 十二日小名濱劇場 十三日江名劇場
- 十四日豊間劇場 十五日四倉座

井上氏が保釋

色川製板の土地問題で平刑務所に入所中の井上茂作氏は本日正午保釋許されて出所し出迎への自動車で家路に向つた、尙ほ色川勝三郎氏も同時に出所した

踏倒し損小

湯本町字上町旅館昭和館方へ去る廿日より滞在した秋田縣南秋田郡下江川村生れ土工藤井兼吉(三)は去る廿二日夜宿代十三圓二十錢の支拂に窮して逃走せんとしたのを家人に押へられ平署へ突出された

- △女中 二十才以上 尋卒 給料面談
- △外交員 二十四五才 高卒 歩合五歩
- △肥料店員 十六二十才 迄 尋卒 六七圓
- △回職を求むる方
- △百貨店員 十六才 高卒 給料面談
- △給仕 十九才 高卒 給料面談
- △小使 四十才 高卒 給料面談
- △女中 二十七才 尋三修 給料面談
- △電工見習 二十三才 高卒 給料面談
- △看護婦見習 十八才 高卒 給料面談

銘劍秘笈録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫
第六十五回 徳川家に崇る村正

雨宿りの粹な家
その翌朝刻通り鈴木重太郎が役所へ出勤すると當面の與力同心が何れも只ならぬ顔をして控へてゐる、御用聞の親分といふ手合も大分集まつてゐた、扱ては何か大事件が起つたのだなそう思ふと事件の内容は解らないが何となく緊張してしまつた



日頃親しく交際してゐる田中幾之進に訊ねると田中が言葉短かに説明してくれ、昨夜向島の水戸の下屋敷へ五六人の賊が忍び込んで御寶藏を破り刀劍陣羽織を盗み見廻りの人を殺し役を立去つたその人数は五六人武士らしいといふのだ、それを訊くと鈴木重太郎がフト思ひ當つたのは昨日葛西太郎で豪遊をしてゐた五人の武士、怪しいと思つたから吉原まで尾けて行つたが小田女郎につかまつたので見失つてしまつた、殊に依つたら彼の連中の仕事ではなからうか、宜しにかくあの連中の居所を探り出し調べるだけ調べて見よう、そう決心を致しました、

知れるだらうと夜になると吉原へ入り込んで五町を歩き廻るが却々出逢はない、丁度七日目の事淺草の仲町まで来るとポツリ／＼降り出した雨が忽ちザツといふ酷い降りになつたヒヨイと脇を見ると粹な格子造りの家、廂が多く出てゐるからこれ幸ひと其下に這入つて暫く雨宿りをしてゐると女「たけや酷い降りになつたよ、引き窓をよめたかい何にも干物は出してなかつたね」

人出の多い淺草方面へ出掛けることにして序に入谷の鐵五郎の處へ立寄り、斯う言ふ武士を見掛けたら知らしてくれと頼みそれから奥山邊りをぶらついたが何の効もなかつた、どうせ一日や二日位で知れる氣遣ひはない、氣長に尋ねる中には

暫く此處をお貸し下さいませ、それはお困りでございませう、其處ではしぶきがかりますからアノ此方にお入りなさいませし」
重「ナニ、もう此處で結構でございます」
女「構ひません、誰も居りませんから御遠慮なくお入り下さいませし、竹や一寸格子をお開け、貴所此方へお入りなさいませし」
お竹といふ女中頼つべたの赤い丸々と肥つたのが出て来て格子を開け

現はしたのは年の頃二十四五、何れ粹者の上りだらう目の醒める様な美しい女、れんじの間からヒヨイと鈴木を見て
女「オヤ何誰かそこにゐらつしやいますので」
重太郎は輕く頭を下げて「俄雨で難い致します

筒が二損並んでその上用箆筒と三味線箱が置いてある、大きな姿見に派手な友禪が掛けてある、總て妾宅の模様だ、妾に付きもの、猫はゐないかと思ふ所へニヤ／＼と鳴きながら可愛い三毛猫が入つて来る、ア、これで揃つたと思はず重太郎クスリと笑つた。

長唄
花柳流
舞踊
御禮古
おすゝめ
致します
平町七三
花柳流舞師
研究所
花柳徳三郎
杵屋十茂代

木村 科醫院
外
平町五丁目橋際
電話九〇三番

御用命は總て印刷物
常磐日印刷株式會社
電話六三〇番

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭にお留守居番
御病人の付添
炊事や雑用
年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話呼六五二)

上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

専門 内科一般

内科は何でも診療致します
呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話一八一番

日本一の三鱗豆炭

最も新しい燃料……三鱗豆炭の御試用を願ひます

火附のよい事木炭同様
(専用の器具不用)
燃料費は各種燃料の三分の一
……炊事場・料理店に最適
三鱗豆炭海岸線一手販賣元
大谷石販賣店住吉屋セメント店
酒井伴城
平驛前(電話六六一番)